

透析中すぐに避難する方法

- ①ポンプを止める(血液ポンプ停止操作は透析室スタッフが行う場合もあります)
- ②針とつながっているチューブ2本をそれぞれヘアーンで止める
- ③針に近い方にプラスチックヘアーン(青色)2本で、それぞれはさんで止める
- ④プラスチックヘアーンより遠い方(外側)に金属製ヘアーン(銀色)2本で、それぞれはさんで止める

- ⑦時間に余裕があるときは、止血ベルトやテープにてプラスチックヘアーンを巻く
(肩近く、洗濯ハサミの所で切断すれば固定無しでもOK)

〔止血ベルトやテープ等で〕



- ⑧ガーゼをお持ちください(その後避難)

※避難後、止血を行うため必ずガーゼをお持ちください

- ⑤プラスチックヘアーンと金属製ヘアーン間のチューブをハサミにて切る

- ⑥切った所から血液漏れがないことを確認する



施設所定避難場所に

- 避難誘導は、スタッフが行います。
- 避難誘導後避難場所にて、人数確認・止血をさせていただきます。
- 施設の被災状況報告は、随時説明申し上げます。
- 今後の連絡方法の説明をいたします。
- ご自宅への帰宅方法に関しては、適時対応となります。